科目名称：	地域美術演習	
担当者名：	和田　紘樹	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1

授業の目的・テーマ

　本学美術学科１年生が全員履修する科目であり、全教員が参加する合宿形式(2日間)の演習である。目的は本学科が目指している美術教育、即ち本学が立地する地域の特性を生かす事であり、ここでは、白山市を中心とした地域の伝統文化遺産と自然遺産への理解を深めることをテーマに、野外スケッチや、伝統民俗工芸制作など現地でしか体験できない事を学習する。また，各コースに分かれてはじめて取り組むので、地域に関する共通理解をもとに企画提案が醸成されて行くことを期待している。

授業の達成目標・到達目標

地域の理解を深め、地域に関する作品を制作する。また依頼があったものに対しては制作するだけではなく、学生から自治体に積極的に企画提案を行うことで、企画力や提案力を身につける。

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			80	20	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
事前調査	地域の文化や歴史について積極的に調べ、十分に準備され、学ぶべき目的を持って臨んでいる。	地域の文化や歴史について積極的に調べ、十分に準備されている。	地域の文化や歴史についての調査や準備がある程度できている。	地域の文化や歴史についての調査や準備が十分にできていない。
作品制作	地域の文化や歴史について積極的に調べ、依頼やテーマを十分に理解し、素晴らしい作品を制作することができる。	地域の文化や歴史について積極的に調べ、依頼やテーマを理解し、とてもよい作品を制作することができる。	地域の文化や歴史について調べ、依頼やテーマを理解し、よい作品を制作することができる。	地域の文化や歴史について調べることに消極的で、依頼やテーマを十分に理解しないまま、作品制作をしている。
遊学心	地域で見聞を広げ様々な考え方や文化を学び、多角的な思考を身につけ、将来に生かす事ができる。	地域で見聞を広げ様々な考え方や文化を学び、多角的な思考を身につけた。	地域で見聞を広げ様々な考え方や文化を学んだ。	地域で様々な考え方や文化を学ぶ意識が薄い。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回	事前研修　地域美術演習の意義について	地域と結びついている美術活動について調べておく	40分
第２回	事前研修　当該地域について	地域について下調べをしておく	40分
第３回 第４回 第５回 第６回 第７回	合宿研修　1日目　地域の見学・取材。また、地元企業・団体グループワークやプレゼンテーションを行う	合宿に必要な取材道具の準備	40分
第８回 第９回 第10回 第11回 第12回 第13回	合宿研修　2日目　地域の見学・取材。また、地元企業・団体グループワークやプレゼンテーションを行う	合宿で取材をした内容や写真などをまとめておく	40分
第14回 第15回	地域美術演習成果展　作品展示	地域の取材から得られたものを参考にし、作品制作を行う。	270分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。
提出作品80%、授業への積極的関与20%を総合して評価する。

課題に対してのフィードバック

課題作品を地域美術演習成果展に展示し、各コースの担当教員が作品について講評する。

教科書・参考書

授業の中で随時紹介する。